報告案件（４）「（仮称）豊田市地域公共交通計画」の策定について

報告４

1　パブリックコメント概要

（仮称）豊田市地域公共交通計画の素案を公表し、下記のとおり意見募集を実施した。

〇意見募集の概要

募集期間	令和４年７月８日（金）～令和４年８月８日（月）
提出方法	直接持参、ファックス、郵送、Ｅメール
周知方法	・広報とよた　（令和４年７月号掲載） ・市ホームページ　（令和４年７月８日（金）～８月８日（月）掲載） ・中日新聞　（令和４年７月１２日（火）掲載） ・ＦＭとよた　（令和４年７月１９日（火）放送）
閲覧場所	市政情報コーナー、各支所・出張所、各交流館

※上記に併せて、Ｅモニターも実施（令和４年７月 26 日～令和４年８月４日）

2　提出された意見の集計と分類

意見募集の結果、下記の 69 通・135 件の意見が寄せられ、４つの項目に分類を行った。

〇提出方法

合計		６９通
内訳	直接持参	１通
	ファックス	１通
	郵送	２通
	Ｅメール	１０通
	Ｅモニター	５５通

〇意見の分類

	項目	件数
①	「基本目標１：まちのにぎわいを生み出す交通」に関すること	３７件
②	「基本目標２：多様な移動手段を活用できる交通」に関すること	４０件
③	「基本目標３：ミライへつなげる交通」に関すること	３３件
④	その他：計画素案全般に関する意見・感想など	２５件
	合計	１３５件

3　主な意見とそれに対する市の考え方

意見は趣旨を損なわない範囲で要約・整理し、市の考え方については以下のとおり。
なお、今回は特に意見が多かったもののみ示している。

①「基本目標１：まちのにぎわいを生み出す交通」に関すること

主な意見	件数	市の考え方
新規バス路線の開設やバス停・便数を増やしてほしい。	13 件	新規バス路線の開設、バス停増設、運行本数の増便は、需要や経費等により総合的に判断します。
鉄道やバス停周辺の交通環境の整備を進めてほしい。	９件	鉄道事業者や関係機関の協力を得ながら、整備の課題・必要性・事業費等を総合的に判断し、優先順位に応じて行っていきます。
無人に近い状態のバスをよく見かける。利用状況に応じて、車両を小型化してもいいのでは。	８件	利用の少ない区間や時間帯は、利用実態に合わせたサービスの見直しを検討していますが、それに合わせて車両の大きさ等も検討していきます。

②「基本目標２：多様な移動手段を活用できる交通」に関すること

主な意見	件数	市の考え方
タクシーが利用しやすい仕組みを考えていくべき。 例）助成券の配布、相乗りなど	11 件	これまで公共交通として明確な位置づけがなかったタクシーを生活交通として計画中で明記し、今後はさらにタクシーの活用を事業者と連携し進めていきます。
小中学生・高校生の通学手段を検討してほしい。	８件	小中学生の通学を支援するため、今後もスクールバスの運行を継続していきます。 高校生の通学への対応は、地域によって事情が異なるので、基幹交通へ接続しやすい環境を整えるために、主に生活交通での対応を検討します。
共助の視点は重要であり、事業者から輸送資源の協力を得ることを考えるべき。	５件	生活交通では、共助の視点が重要と考えており、地域や交通事業者との連携が必要となります。 あらゆる移動手段を総動員して移動を確保する観点から福祉施設等の事業者による輸送資源の活用も検討していきます。 また、住民共助による輸送は地域が取り組みやすいような支援を実施していきます。
住民共助による輸送は、継続性や安全面で難しい。	５件	

③「基本目標３：「ミライへつなげる交通」に関すること

主な意見	件数	市の考え方
公共交通がなくなると困るので、現状より負担してでも維持していくべき。	10 件	運行経費が増加傾向にあり現状路線の維持が困難な状況の中で、基幹バスを維持していくためには、現状経費の増加を前提としない形でのサービス内容の見直し、適切な利用者負担等の検討が必要と考えています。 地域バスは、上記の検討に加え、利用ニーズや実態に合った運行形態へ転換し、利便性と効率性の両立を図りたいと考えています。
効率的な公共交通の運営について検討が必要。	9 件	
おいでんバスの運賃を下げてほしい。	5 件	
先進技術の活用や導入を進めてほしい。	8 件	自動車産業の拠点として発展してきた都市の特色を生かし、MaaS や CASE など移動に関する様々な技術に着目しながら利便性の高いサービスの展開を目指していきます。

④その他：計画素案全般に関する意見・感想など

その他の意見・感想など（一例）
コロナの影響が大きい令和２年度を基準に計画を検討してよいのか。
公共交通利用者数の増加や経費の削減の見込みはあるのか。
交通だけで考えるのではなく、関連する他分野との連携が必要である。
多額の税金が使われていて驚いた。
今後はおいでんバスを積極的に利用したいと思った。

４　計画への反映

寄せられた意見のうち、現時点で計画に反映させるものについては以下のとおり。

①高校生の通学手段について

小中学生の通学支援は、スクールバスの運行を計画に位置付けているが、高校生の通学対応も計画に盛り込むように内容を修正する。

②共助に関する具体的な事例について

計画素案では、共助の仕組みとして「共助による輸送」、「タクシー相乗り」、「地域住民の協力金」、「地元企業の協賛金」をイメージで掲載しているが、このような仕組みがより分かるような具体事例を計画本編に記載する。

５　今後の対応

・パブリックコメントで寄せられた意見と市の考え方については、市のホームページ等で公開する。（10 月下旬頃）

・寄せられた意見は、計画素案に反映した上で、令和４年 10 月末に新計画を施行する。